



- 1 進入地点に「地域内交通専用」および低速指定を示す標識とバリア
- 2 可能な範囲で共存空間を示す道路標示

**交通量や速度を最小限に抑え、人々が安全に歩行、自転車に乗り、ランニングができるようにします。**

### 即地的状況

- 車両交通量が少ない、低速から中速指定の街路において、車両交通量が更に低下またはCOVIDの混乱の間、通過動線の役割を過剰に果たしている場所。

### 鍵となる手段

- 仮設の交通バリアと「地域内交通専用」、「低速/共存」、またはブランド化した標識(例:「健全な街路を維持しましょう」)を車両の主要な進入地点に設置する。
- 近隣地域については、バリケードを設置すべき生活道路網への格子状の進入地点を確立する。
- バリケードのケアおよび監視役を特定する。
- 地域内アクセス、配達、緊急車両を許可する。

**実施計画:** 1週間。

**期間:** 数日間から数カ月間。



出典: 欧州自転車競技連盟

### ベルギー・ブリュッセル

ブリュッセルでは、繁華街の中心部に時速20km (12マイル) 指定の区域を設け、歩行者が路面をより安全に歩けるようにした。

## 計画

- 重要な進入地点で閉鎖できる道路網を特定し、内部の交差点には遮るものがないようにする。
- 提案されている近隣緑道、自転車の並木道、または実施が計画されている経路を検討する。
- 交通量の少ない他街路や低速から中速指定の街路を含めることを検討する。

## 連携

- 住宅管理組合やその他の住宅地区組織に働きかける。
- 自転車/歩行連合や健康連合、自転車店と連携する。支援団体や雇用主を通じて従業員に働きかける。
- 利害関係者や支援団体と協力してチラシを配り、地元住民と安全に連絡を取る。
- コミュニティ団体を活用して、主要な障害や設計や区間の長さに影響を与える課題を特定する。

## 設計 + 実装

- 完全に閉鎖する交差点と、部分的に閉鎖する交差点を特定し、地区内アクセスを維持しつつ、多くの通過動線を防止する。
- 軽分離を配置し、道路を部分的に閉鎖し、規制内容と低速（通常は5～10 mph / 10～15 km/h）指定を標示する。
- 仮設の「地区内交通専用」標識を使用し、必要に応じてバリケードやA-フレームに取り付ける。

## モニタリング

- 重要な基準：需要の数値と割合の変化。チューブカウンターなどの自動装置を使用して、実用的であれば、自転車台数や、短時間（15分から1時間）の歩行者数のサンプルを収集する。
- カウントや調査を実施して、区間を拡大すべきかどうか、どこで拡大すべきかを判断する。



出典：@jonobate

### 米国・カリフォルニア州・オークランド

オークランドでは、A-フレームに取り付けられた標識を使用して街路を地区内アクセスのみに指定し、74マイルの「低速共存道路」網を構築した。



出典：NACTO-GDCI

### ニュージーランド・ダニーデン

ダニーデンは、指定速度を時速10 kmに落とし、都心部の事業者が街路に拡張できるようにする計画を承認し、複数の移動手段用の共存空間を設けた。